

三松のMERC加工技術について



MERC加工とは

コネクタ、スイッチ、プリント基板などに代表される電子部品の生産を、NCプログラムと汎用パンチの組み合わせによって、打ち抜き（追い抜き）、曲げる（成形）加工のことです。0.1mm～1mmの金属や樹脂の板に対して、精度10ミクロンで加工できる優れた加工技術です。



弊社におけるMERC加工のメリット

1 従来の専用プレス金型が不要なので、 大幅なコストダウン・納期短縮・頻繁な設計変更が可能。

開発試作（デザイン試作・機能試作）の課程において発生する設計変更のたびに、現状ではエッチング加工、ワイヤカット加工、プレス加工など、膨大な時間とコストを要しますが、MERC加工ではNCプログラムと汎用パンチの組み合わせによる打ち抜き及び曲げ加工を行うため、材質違いや寸法違いの製品を自由に、しかも同時に製作でき、試作品の評価試験等の大幅な時間短縮、コストダウンにつながります。

2 プログラムの保管のみで製品供給可能ゆえ、 保管やメンテナンスにおけるコスト不要。

プレス金型では、保証生産のために販売終了後も数年間は保有しておく必要があり、その保管やメンテナンスには多くのコストが必要ですが、MERC工法においてはプログラムを保管しておけば 必要なときに必要なだけすぐに製品供給が可能です。

3 国内唯一の2機保有ゆえに、さらなる納期短縮が可能に。

全国でも数社しか保有していないMERC加工機を、弊社では国内で唯一2機保有しております。導入から現在に至るまで、長年の経験とノウハウを持った技術者が、多品種少量や量産等さまざまなニーズにお応えしております。
また、製品の加工後の各種表面処理もあわせて承っております。